

令和五年度 一宮支部講習会

― 豊橋筆とストラップ作り体験 ―

事業部長 倉 橋 高 堂

▼日時 令和五年十月二十九日(日)
▼行先 一宮スポーツ文化センター

今年には豊橋筆職人で、伝統工芸士の山崎亘弘様、渡辺一明様、山崎様の娘さんの由紀子様、亜紀様にお手伝いを頂き、筆の製造工程の見学とストラップ作りに分かれての講習となりました。

豊橋筆は、広島筆と並び日本の筆の産地で、特に高級筆においては、日本一の生産数を誇ります。ルーツは江戸時代に遡りますが、田藩の城下町であった豊橋は、山が多く筆の材料となるタヌキ、イタチの毛が豊富に手に入りました。筆作りは、武士の内職として始まり、また、東海道路に面していた為、行商の容易さもあり、次第に発展していきました。

今回は、全工程の内、選別から尾締めまでを実

演していただきました。渡辺様の年令を感じさせない作業スピードと丁寧な職人技、また、語りにも引き込まれ、興味深く拝見しました。ストラップ作りでは、皆さんそれぞれに好みの色とりどりのストラップが出来上がり、「かわいらしいお土産ができた」との喜びの声も聞かれました。伝統工芸に触れることが出来、大変貴重な時間を過ごさせて頂き嬉しく思いました。

今回の参加者は、六十四名で会員以外からも、二十四名の方が参加して頂きました。ありがとうございました。

